子どもたちの命を守るため

この数カ月間、はしかから子どもたちを守るために拡大し続ける、ゲイツ財団との共同プログラムについてお話ししてまいりました。今月は、この輪がネパールにも広がりました。

先週、私はネパールで政府指導者たち、そしてユニセフや世界保健機関 (WHO)を はじめとするパートナーたちに会う機会を得ました。私たちには過去にも他のプログラムで協力してきた長い歴史があります。今回はしか撲滅の取り組みにライ オンズが参入したことに対し、彼らは感謝の意を示してくれました。今年、ライオンズとはしかイニシアチブは力を合わせ、ネパールで 1,000 万人、世界で計 1 億 5,700 万人の子どもたちに予防接種を行う予定です。

私 は幼い頃、はしかにかかりました。しかし幸いにも、アメリカの優れた医療サービスを即座に受けることができ、大事に至ることはありませんでした。私の子ど もたちも、孫たちも、はしかの予防接種を受けています。しかしネパールやその他の開発途上国では、そうはいきません。医療サービスや予防接種は高額なこと もあり、多くの場合、こうしたサービスを最も必要とする子どもたちの元になかなか行き渡らないのです。ライオンズは、はしかの恐ろしさと予防接種の重要性 を母親たちに教える手助けをしています。こうしたはしか予防接種キャンペーンの多くでは、たとえばネパールでは風疹など、他の病気の予防接種も合わせて実 施しています。

ネパールで拡大しているのは、はしかのプログラムだけではありません。先日、ライオンズクエストも立ち上がりました。世界中のライオンズが私たちの子どもたち、そして孫たちの明るく健全な未来のため様々な形で力を注いでいることに、私は絶えず驚かされます。

ライオンズのような規模の団体が持つ草の根的な構造には、はしかの撲滅に決定的な影響を与えるパワーがあります。ライオンズはすでに、回避可能な失明を撲滅する視力ファーストの取り組みでよく知られています。そして今、私たちははしかに対して同じチャンスを得ているのです。

たった 1 ドルで、1 人の子どもにワクチンを接種することができます。ゲイツ財団は、1,000 万ドルを集めるようライオンズに呼びかけています。2 ドル集まるごとに、ゲイツ財団が 1 ドルを拠出します。皆さんもご一緒に、子どもの命を救う手助けをしてくださいますよう、ご協力をお願いいたします。世界の子どもたちが、私たちを頼りにしています。

よりよい明日のため、今日、力を合わせようではありませんか。

ライオンズクラブ国際財団理事長
シド L. スクラッグス III 世